



のぶすま

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター

2010年夏号 Vol. 23

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかっつて、「のぶすま」とつけました。

大迫力！ヤママユガの仲間！

ヤママユ

ウスタビガ

クスサン

体の大きなものが多いヤママユガの仲間。そんな彼らを少しだけご紹介します。

葉っぱに姿が似ています。目立たなくして敵に見つからないようにしています。

せなかは黄緑色、おなかは深緑色をしています。これも葉っぱのまねをしています。

幼虫

長い白い毛がたくさん生えています。「シラガタロウ」とも呼ばれています。

きれいな緑色のマユを作ります。このマユから糸作りをしている地域があります。

この中でサナギになり、成虫になる準備をします。

マユ

アミのようなマユを作ります。すけた米俵のように見えるので「スカシダワラ」とも呼ばれています。

高尾山では最大級のガです。成虫によって、もようや色が少し違うものがいます。

成虫は10～11月に発生します。ヤママユガの仲間の成虫は何も食べずにすごします。

成虫

りっぱな目玉もようの持ち主です。さかさに見るとフクロウの顔に見える？

目玉もようを守る

昆虫には目玉もようを持つものがあります。自分を食べようとする鳥を目玉もようでおどろかし、身を守っています。



高尾山4コマ漫画その15 解説員アラツの挑戦！ 優しさの果てに——の巻 作・画：ばん



※登場人物の性格はデフォルメされています

「のぶすま」は高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。ご希望の方は窓口へお申し付けください。

なつ夏のの

たかおさん しぜんじょうほう 高尾山自然情報

今回のテーマは「ガとチョウの仲間」。

ガやチョウたちは、毎日のように鳥などの生き物に食べられています。でも、ただ食べられるのを待っているわけではありません。毒やものまね、目玉もようなど、いろいろな工夫をこらして身を守っています。



クモの仲間

カマキリの仲間

トンボの仲間

スズメバチの仲間
強い毒をふくんだ毒針を持っています。彼らも毒で身を守っています。

ガやチョウを食べる生き物
鳥だけでなく、ガやチョウは、いろいろな生き物の食べ物になります。鳥にきく毒も、ほかの生き物には通用しないこともあります。

どく毒
まも
で守る

ドクガ
毒毛の長さはわずか0.1mmほど。髪の毛の太さくらいしかありません。

イラガの仲間の幼虫
見た目にも痛そうな毒トゲを持っています。これにふれると激しい痛みがします。

毒毛・毒トゲを持つガ
毒毛や毒トゲには、かゆみや痛みを引き起こす毒がふくまれています。この毒は人間にも効果があるので、むやみに近づいたり、さわったりしてはいけません。

チャドクガ
体が小さい時は集まって生活します。姿を大きく見せて食べる者をおどしているといわれています。



アサギマダラ
旅をするチョウで有名。毒を持つ昆虫は派手なものが多く、危険であることがアピールしているといわれています。



ジャコウアゲハ
成虫はひらひらとゆつくり飛び、あまり素早い行動をしません。オスは独特のおいがします。

毒を持つチョウ
毒のあるチョウを食べた鳥は、お腹をこわして吐き出してしまいます。毒は幼虫が食べる植物や成虫が吸う花の蜜からたくわえるといわれています。

に似
まも
せて守る



ものまねをするガ
昆虫のなかには、毒を持つ昆虫とそっくりなものがいます。鳥は毒を持つ昆虫を食べて、ひどい目にあうと、次から姿のよく似た昆虫を食べなくなります。ものまねをしている昆虫は、この鳥の習性を利用して、鳥から食べられないようにしています。



ホウジャク
ハチのものまねをしています。姿だけでなく、飛び方もハチに似ています。



アゲハモドキ
ジャコウアゲハのものまねをしています。姿は似ていますが、大きさはだいぶ小さいです。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター
「のぶすま」 2010年夏号Vol. 23
東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成
2010年7月1日発行
所在地：〒193-0844東京都八王子市高尾町2176
電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926
URL：http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/
(カラー版最新号を閲覧できます)

◆購読の方法
80円切手と封筒（※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。）を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。